

Top Interview

— 変革に挑む —

まとめ/堀水潤一 撮影/設楽政浩

人がやりがいを感じられる 「天職」と出合える 十分な環境がある

東 京工学院専門学校および東京エアトラベル・ホテル専門学校からなる総合学院テクノスカレッジのキャンパスには、34学科58コースの学生が学んでいます。他学科の科目の受講や合同実習のほか、イベントなどを通じた交流の機会も多く用意されています。一例を挙げれば、ブライダル科の模擬披露宴には、映像や音響、デザインを学ぶ学生も協力します。そうした際、意見が激しく対立することもあるでしょうが、悪いことはありません。互いを刺激し、高め合うことにつながるはずですが、例えば電気電子学科の学生とエアライン科の学生とは雰囲気の違いが、異なる資質や視野をもった学生が二つどころで学ぶことで生じる効果は少

なくありません。コミュニケーション能力や協調性、ひいては豊かな人間性を育むことになります。その点、毎年6月に開催されるインターナショナルウィークもい機会。世界各地の提携大学から来校する外国人学生との2週間にわたる交流を通じて大いに刺激を受けます。キャンパスのなかに、実践的な教育の場があることも特色です。例えば、スポーツビジネス科の学生が、近隣の子どもを対象としたスポーツクラブを校内で運営しています。ボランティアではなく、月謝をいただいているため甘えは許されません。水泳やサッカー指導のほか、生徒募集から保護者対応まで行うなか、社会人として必要とされる力を自然と身につけているように思います。

また、幼児教育学科・子ども学科の学生は子育て応援サークルを運営しています。そうした経験があるため、実習先でも物怖じすることがないでしょう。さらに、4年制大学コースでは、授業の二環として校内でカフェを経営。現場さながらの環境で実践力を磨きます。社会の第一線で活躍する講師陣による指導に加え、こうした特別講座、企業体験などを通して身につけてほしいのは、人間としての総合力です。高い専門性に加え、良き人間性があってこそ社会から求められる人材になるはずですが、私はよく、就職活動に励む学生の面接の練習相手になりますが、それに限らず、私は学生と話すことが大好きです。どんな子でも光るものがありますし、伸びる要素があることを日々実感しています。伸びる速度には個人差がありますが、教職員の根底にそうした理解があれば、必ず、いい方向に向かうと信じています。

「人の生涯は天職をまっとうするところに意義がある」。こう建学の精神にあるように、やりがい、生きがいを感じられる職業を、この恵まれた環境で見つけてください。自分で選んだ道であれば、たとえ壁を前にしても、挫折することなく、きつと乗り越えられるはずですよ。

東京工学院専門学校
東京エアトラベル・ホテル専門学校
学院長
亀田俊夫



【学院長プロフィール】かめた・としお●1945年生まれ。中央大学理工学部電気工学科卒業。日立製作所勤務を経て、学校法人田中育英会 東京工学院専門学校に入職。同校校長を経て、2009年より現職。

【学院プロフィール】1959年名城大学付属東京テレビ高等技術学校として設立。2005年東京工学院専門学校、東京エアトラベル・ホテル専門学校両校の呼称を総合学院「テクノスカレッジ」とする。両校あわせて34学科58コース。